

## 刊行にあたって

1993年、最初のニッケルチタン（Ni-Ti）ファイルであるライトスピードが上市された。ステンレス製手用ファイルを用いた根管治療とは異なり、マイクロモーターエンジンを使用する Ni-Ti ロータリーファイルは、時間の大幅な短縮と術者の疲労の減少を可能にした。そのため、この夢のような機器の到来に、大きな驚きと称賛の声が上がった。

しかし、多くの利点をもつ一方、根管内でのファイル破折やトランスポーターション、穿孔などの偶発事故を生じる可能性が指摘されており、「使用をためらっている」あるいは「買ったはよいが使っていない」などの声を耳にする。

この30年間で、偶発事故の防止や切削効率の向上などを目的とし、さまざまなデザインや異なる使用法の Ni-Ti ファイルが数多く登場してきた。これまで Ni-Ti ファイルに関する多数の論文や出版物はあるが、あまりにも多くの Ni-Ti ファイルが入手可能となった現在、どのファイルを選べばよいか非常にわかりにくい。また、使用していた Ni-Ti ファイルが販売終了となることもあり、最新のファイル事情に関する知識をつねにアップデートしなければならないのが現状である。

本増刊号では、最新の Ni-Ti ファイル事情を勘案し、「押さえておきたい Ni-Ti ファイルの基本的知識」、「Ni-Ti ファイル使用の勘どころ」および「Ni-Ti ファイル トラブルシューティング Q&A」を大項目として、熟練の臨床家から新進気鋭の臨床家まで、幅広いエンドのスペシャリストにご執筆いただいた。現在使用されている Ni-Ti ファイルの特徴、使用法やその注意点などが手に取るようにわかる。まさに、Ni-Ti ファイルのいまを知るには最適の一冊となっている。

Ni-Ti ファイルは怖いものではない。Ni-Ti ファイルを正しく理解して使用することで、そのすばらしい恩恵を受けることは間違いない。

本増刊号は、歯内療法のエキスパートだけではなく、Ni-Ti ファイルを自身の臨床に取り入れたい、あるいは興味があるという臨床家にとって、幅広い知識のレベルアップを可能にする。また、ベーシックからアドバンスまでの内容を網羅していることから、若い臨床家にも本書を手にとっていただき、明日の臨床に役立てていただきたい。

2023年9月

日本大学歯学部 歯科保存学第Ⅱ講座

武市 収